



(七条・七条第三・西大路) 七条中学校×自治連合会 ×区役所

七条中学校では今年度の総合的な学習の時間においてSDGsを柱に取り組みこととし、1年生はそのゴールのひとつ「住み続けられるまちづくり」をテーマに、自分達の地域の課題を探し、解決方法の仮説を立て、検証する探究活動を行いました。

12月に行ったグループ学習(ワークショップ)では各自が考えた意見を持ち寄り、班ごとに取り組む地域の課題と、それを解決する仮説を決めました。



区役所から市民協働ファシリテーターなども参加してサポートし、「ゴミが多い」「まちに活気が無い」「バイクの騒音」などの地域課題が意見として出ました。



グループ学習で決めた課題に基づき七条地域で調査を実施。お店や交番、学区の自治連合会会長などへのインタビューを通じて、仮説を検証しました。

地域の課題に気をつけてまちを歩いてみると、私たちの知らないところで掃除をしている人がいることなどが分かり、地域がたくさんの人に支えられていると知ることができました。



生徒の感想



西大路自治連合会 飯村会長

地域の特徴や課題について質問に来てくれたのですが、自分たちの住むまちをより良くしようと考えてくれていることが嬉しかったですね。中学生の視点も大事にして、これからの地域運営に生かしていきたいと思います。

2月に予定していた成果発表会は新型コロナウイルスの感染拡大により中止となりましたが、生徒にとっては、まちづくりには多くの人たちの思いや工夫があることを学ぶ貴重な機会となりました。

同時に、地域にとっても、中学校と自治連合会、区役所が協働してまちづくりに取り組む新しいモデルケースになりました。

総合学習に地域が協力! 児童・生徒がまちで学びを 深めています

地域の歴史やまちづくりの取り組みについて理解を深めるために、区内の小・中学校で地域と取り組まれている総合学習の様子についてお伝えします!

洛央小学校× 松原通界限活性化活動 プロジェクト委員会

洛央小学校では平成25年から、松原通の歴史的資源の魅力や魅力を次世代に伝えるため活動されている「松原通界限活性化活動プロジェクト委員会(松原PJ)」の協力により、地域の歴史や魅力を学ぶ授業に取り組んでいます。



←過去の取り組みの様子

これまで
○子ども鉾「洛央鉾」の曳き初め
○因幡薬師前での「お迎え提灯灯し」
○松原京極商店街など、松原通の見学など多くの取り組みを行いました。



今年度は6年生が、6月に松原PJの山田座長による「松原通の歴史と文化」の講義を受講しました。また9月には、山田座長が取材した洛央小学校校区界隈の名所について、今も地域に息づく豊かな歴史を学びました。



←かつて祇園祭の長刀鉾の休憩所だった「祇園床」
↓平安時代に創立された「不動寺」



僕が一番印象に残っているのは、京都の町は松原通が中心だったということです。松原通の魅力について、もっとみんなに知ってもらいたいです。



児童の感想



先生の声

今年はコロナの影響でまちあるきができなかったのですが、松原PJの方が工夫してくださったおかげで学区が持つ地域資源の素晴らしさをより深く学ぶことができ、児童たちも自分達の地域に誇りが持てたようです。

新型コロナワクチンの3回目接種は、接種券が届いた方から接種できます。(2回目接種を終えて6カ月以上経過した18歳以上の方が対象)
※接種券のお届け時期などはポータルサイト、コールセンターでご確認ください。
※1回目・2回目接種も引き続き予約受付中です。

市新型コロナワクチン接種コールセンター

050-3310-0371 / 0570-040808 / 950-0808

※ナビダイヤル(0570)は通話定額プラン等でも料金がかかります。

FAX 950-0809 ※受付時間 8時半~17時半 (土・日・祝日も対応)

京都市 ワクチンポータルサイト

検索

